



龍谷大学校友会 北海道支部だより

会費納入会員数 99名
校友支部総数 548名

2023(令和5)
9月20日発行

第22号

発行/龍谷大学校友会
北海道支部
支部長 海野 英爾

事務局
〒047-0028
小樽市相生町8番13号(石井印刷内)
TEL: 0134-23-8484
FAX: 0134-33-8281
MAIL: ipi-ishii@par.odn.ne.jp

支部長挨拶

龍谷大学校友会北海道支部

支部長 海野 英爾

七月十五日、三年越しに龍谷大学校友会北海道支部総会を開催しました。会員八名、来賓二名での集いでした。過去と比較して寂しいといえれば寂しいのですが、コロナ禍残留時にも関わらず駆けつけてくれたといえは、よくぞお集まりいただいたと感謝せずにはいられません。議事もつつがなく承認され、ご

来賓の黒川雅代子様、森竜樹様を交えての懇親会では、まことに盛り上がりました。

コロナ禍の予防のために対面での集いが激減し、またIT技術の進化でリモートでの対話も普及しましたが、この状況は決して当たり前とは思いません。

親鸞語録に「一人居て喜ばば二

人と思うべし。二人居て喜ばば三人と思うべし」とあり、自分と同じように思ってくれる人は、必ずいると解されていますが、人は修行としての孤独は必要としても、生涯孤独は人間として好ましくありません。であれば対面でのおつきあいこそが本来の人間らしさといえます。

話す言葉の意味も大切ですが、対面では話すときの表情も心で受け止められます。それは人間に与えられた特技であると同時に、相手の気持ちを思いやる側隠の情ともいえるわけで、ここに孤独を脱する幸せがあるような気がします。

私たち人間は人間以上にはなりきれませんし、ITに踊らされるわけにもまいりません。

人間らしく堂々と生きるためにも、すこし用心しながら対面を取り戻したいものです。

合 掌



2022(令和4)年度 龍谷大学校友会北海道支部事業報告

- 令和4年度総会
書面総会
- 校友会北海道支部会報誌の発行
年1回発行
- 会費の納入の推進
会費未納の方へお知らせを行い、継続的に取り組む

令和4年度監査報告

2022(令和4)年度龍谷大学校友会北海道支部の会計処理について
監査した結果、適正且つ正確に処理されていることを認めます。

以上

令和5年7月13日

監査

藤田善昭

令和4年度 龍谷大学校友会北海道支部決算

収入の部		自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日			
款	費目	令和4年度決算	令和4年度予算	対比*	備考
1	会費	0	270,000	△ 270,000	99名
2	本部助成金	180,000	240,000	△ 60,000	
3	参加費	0	100,000	△ 100,000	総会懇親会
4	寄付金		0	0	
5	雑収入	12	13,710	△ 13,698	利息 祝儀
6	繰越金	946,079	946,079	0	
	合計	1,556,302	2,000,000	△ 443,698	

支出の部

款	項	費目	令和3年度決算	令和3年度予算	対比	備考
1		総会費	41,525	150,000	△ 108,475	石井印刷(資料作成、 発送手数料)
2		親睦会費	0	10,000	△ 10,000	
3		公開講演会費	0	200,000	△ 200,000	
4		会報誌費	190,204	200,000	△ 9,796	石井印刷(資料作成、 発送手数料等)
5		懇親会費	0	130,000	△ 130,000	
6		会議費	2,640	10,000	△ 7,360	石井印刷(役員会案内)
7		交通費	0	30,000	△ 30,000	
8		通信費	0	10,000	△ 10,000	
9		交際費	0	20,000	△ 20,000	
10		事務費	0	10,000	△ 10,000	
11		雑費	0	30,000	△ 30,000	会費振り込み手数料
12		予備費	0	1,200,000	△ 860,000	
		合計	234,369	2,000,000	△ 1,765,631	

収入合計	1,556,302
支出合計	234,369
差引	1,321,933

2023(令和5)年度 龍谷大学校友会北海道支部事業計画

- 令和5年度総会
期日 令和5年7月15日(土)
場所 ジャスマックプラザホテル
- 校友会北海道支部会報誌の発行
年1回発行
- 会費の納入の推進
会費未納の方へお知らせを行い、継続的に取り組む
- 公開講演会
本部と協議の上、11月を目途に開催する方向で検討



令和5年度 龍谷大学校友会北海道支部予算

収入の部		自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日			
款	費目	令和5年度予算	令和4年度決算	対比	備考
1	会費	270,000	0	270,000	90名
2	本部助成金	200,000	180,000	20,000	
3	参加費	50,000	0	50,000	
4	寄付金	0	0	0	
5	雑収入	67	12	55	祝儀、利息
6	繰越金	1,321,933	1,376,290	△ 54,357	
	合計	1,842,000	1,556,302	285,698	

支出の部

款	項	費目	令和4年度予算	令和3年度決算	対比	備考
1		総会費	150,000	41,525	108,475	
2		親睦会費	10,000	0	10,000	
3		公開講演会費	200,000	0	200,000	
4		会報誌費	200,000	190,204	9,796	
5		懇親会費	130,000	0	130,000	
6		会議費	10,000	2,640	7,360	
7		交通費	30,000	0	30,000	役員交通費
8		通信費	10,000	0	10,000	送料
9		交際費	20,000	0	20,000	
10		事務費	10,000	0	10,000	
11		雑費	30,000	0	30,000	振り込み手数料
12		予備費	1,042,000	0	1,042,000	
		合計	1,842,000	234,369	1,607,631	

収入合計	1,842,000
支出合計	1,842,000
差引	0


 コラム

心の旅

龍谷大学校友会北海道支部 事務局長

石井 伸 和

龍谷大学もその校友会も「建学の精神」は不動です。建学の精神とは親鸞の教えですが、私のように経済学部を出て宗門を生業としない者からすると、少し視点が異なります。この問題意識を別な事例で例えてみます。

「和装」は日本の近代化の中で、特殊な職業か伝統文化では息づいていますが、一般人にとって冠婚葬祭以外身に纏う機会がなくなっています。ところが若い方の中に、自由に和装の一部をファッションに取り入れたり、あるいは古い着物をリメイクする者が増えてきました。これは日本人の感覚から観るとまことにウエルカムな現象です。中には「えっそこまでする？」といったアナーキーでアバンギャルドな印象を抱くものも散見されますが、自由なファッション感覚には決まり事などありませんので、微笑んで受け入れるしかありません。そんな若者でも年を重ねていくと、自分なりの品格が備わり、不快感どころか「素敵で似合いますね」と感心すること請け合いです。その過程で伝統文化の様々な意味合いも理解していくでしょう。最初から教科書通りに教育する演繹法より、自由な感性から教科書に興味を誘導する帰納法の違い

でもあります。

私は観光地の小樽で暮らしていますが、たまたま不要になったカトリック教会の建物の活用の相談をいただく機会がありました。まだ検討中ではありますが、こんなことを考えています。「観光」の由来は「観国之光」つまり、他国を見聞して学ぶ意味ですが、カトリック教会で神父さんにその教えを聴き、真宗寺院で住職さんにその教えを聴き、あるいは神社で宮司さんにその教えを聴き、ツアーを組んだ若者達で「哲学ワークショップ」をすると、実に豊かな観光「心の旅」ができるのではと考えています。どこぞの国の情報操作こそ無意味です。するとなにが起きるかということ、それぞれの教えの「いいとこどり」を自分なりに組み立てるようになります。これはまさに若者が和装を自由に取り入れる現象に似ています。そして自分にとって基本になる教えを身につけた時に自己覚醒が起こり、客観的な視点から「帰依」する精神を抱くことになるのです。換言すれば、「心の旅」からの帰省先が「帰依」となります。まして全国で信徒が最も多い真宗は自信を持って対応できるのではと思っています。



カトリック小樽教会 住之江聖堂

本部からのお知らせ

第22回校友会賞受賞

団体(個人)賞

コロナ禍において人と人との繋がりの大切さと気づき、本学の自否利他の行動哲学をもとに、学生だけで新たな交流の場となるカフェの企画運営をした。在学中、卒業生、教職員、近隣住民を巻き込み、正課外において「主体的な活動」地域連携「私教SDG」の具現化を目指しています。

団体(個人)賞

コロナ禍において人と人との繋がりの大切さと気づき、本学の自否利他の行動哲学をもとに、学生だけで新たな交流の場となるカフェの企画運営をした。在学中、卒業生、教職員、近隣住民を巻き込み、正課外において「主体的な活動」地域連携「私教SDG」の具現化を目指しています。

第22回 校友会賞受賞者

賞状活動などで顕著な成果を挙げ、母校への貢献を称え表彰しています。

たさらに、個人戦において、全日本学生バドミントン選手権大会団体戦準優勝、関西学生バドミントンリーグ戦大会優勝(9連覇)に大きく貢献しました。

個人(団体)賞

第22回全日本学生バドミントン選手権大会団体戦準優勝、関西学生バドミントンリーグ戦大会優勝(9連覇)に大きく貢献しました。

菅沼 奈津美 芸事賞

第22回全日本学生バドミントン選手権大会において、女子シングルスカルで優勝しました。チームをけん引し、第99回全日本選手権大会では見事に銅牌を手にして20年ぶりの優勝を成し遂げました。

個人(吹奏楽部)

第24回KOBEL国際音楽コンクールにおいて最高位を受賞しました。第30回ブルクハルト国際音楽コンクールにおいても、クラリネットでもっとも優れた演奏者として表彰されました。

団体(個人)賞

活動の目的である地域課題の解決に向けた取り組みとして、機材団地の住民の繋がりを創出し、イベントの実施を粘り強く働きかけ、住民の交流や健康増進に寄与した取り組みは、京都市などが主催する「健康長寿のまち・京都いきいき賞」を受賞しました。

個人(吹奏楽部)

第24回KOBEL国際音楽コンクールにおいて最高位を受賞しました。第30回ブルクハルト国際音楽コンクールにおいても、クラリネットでもっとも優れた演奏者として表彰されました。

個人(吹奏楽部)

第24回KOBEL国際音楽コンクールにおいて最高位を受賞しました。第30回ブルクハルト国際音楽コンクールにおいても、クラリネットでもっとも優れた演奏者として表彰されました。



校友総会の様子

その後、『成就館 1階 Cafe Ryukoku&』で、『旧学館食堂の今』を楽しみましょう』をコンセプトに思い思いに龍谷大学の食堂の歴史に思いを馳せる交流会を開催しました。

参加費は1,000円。レストランのお料理、とりわけ自慢の手作りドレッシングも人気で、「今の学生さんはこんなランチを食べているのか、自分の時は豪華なランチがコープAだった。」などの思い出話に盛り上がりました。

大学内の各部署、校友会本部から提供されたグッズをかけてのくじ引きも盛り上がり、4年ぶりの対面開催のひと時を大切に感じる交流会となりました。



懐かしい学食の写真パネルも好評



校友総会 & 交流会 ～ 4年ぶりに対面開催～

6月13日、2023年度校友総会と交流会を開催しました。

会場は旧学友会館(通称《学館》)後にできた『成就館(じょうじゅかん)』。

校友総会は、ちょっとしたライブやイベントができる『ライブシアター』で、その後の交流会は成就館1階『Cafe Ryukoku&』で実施しました。

『成就館』は、そのお披露目は2020年4月からの予定でしたがコロナで開館が延期となり、規制が緩和されて、ようやく学生の諸活動や学部同窓会、支部のイベントでも使っていただけるようになりました。

校友総会では赤松校友会長のあいさつに続き、議長に町田副会長を選出しました。

菅谷事業部会長が22年度の事業報告と23年度の事業予定について、成松総務部会長が22年度決算と23年度予算について、泉広報部会長からHP、SNSを活用した広報の取り組みについて説明しました。



参加者で記念撮影